



7/8 B&G会長賞御荘B&G海洋センター水泳記録会

御荘B&G海洋センター屋内プールで、「令和5年度B&G会長賞御荘B&G海洋センター水泳記録会」が開催されました。4年ぶりとなる大会には、町内の小学校6校から60人の児童が参加しました。

この大会は、小学生を対象とした記録会として行われ、選手たちは自己記録の更新を目指して力強い泳ぎを披露しました。観客からも大きな声援が飛び交い、記録会は盛会のうちに終了しました。



愛媛
CATV
動画



▲保護者や仲間の声援を受け、全力で泳ぐ選手たち

7/9 第19回愛南町スポーツ少年大会ミニバスケットボール競技

城辺小学校屋内運動場で「第19回愛南町スポーツ少年大会ミニバスケットボール競技」(愛南町スポーツ少年団主催)が行われました。町内外から4チームが出場し、白熱した試合を繰り広げました。

選手は暑い中、日頃の練習の成果を発揮し、スピード感あふれるプレーを披露しました。

【優勝】愛南ミニバスケットボールクラブ

【準優勝】広見ミニバスクラブ



愛媛
CATV
動画

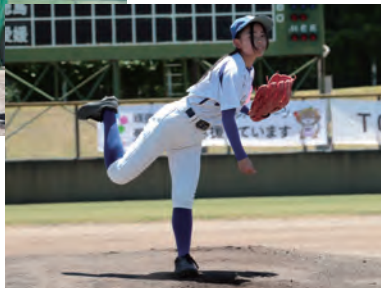


▲優勝：愛南ミニバスケットボールクラブ

7/16 愛媛マンダリンパイレーツ公式戦 ～愛南町応援デー～



愛媛
CATV
動画



投手戦となったこの日の試合、愛媛マンダリンパイレーツは6回裏の攻撃で先制に成功しましたが、最終回徳島の攻撃でタイムリーツーベースヒットと3ランホームランを浴び、1-4で敗れました。しかし、観戦していたファンや野球少年たちはプロ選手の華麗な守備や豪快な打撃に目を輝かせ声援を送っていました。

球場の外では露店やキッチンカーなどが出店したほか、5回裏イベントでは愛南町の特産品が当たる「お楽しみ大抽選会」を開催。また、試合終了後には直前まで選手が試合をしていたグラウンドが開放され、プロと同じ土を踏みしめて子どもたちはキャッチボールなどをしました。

四国アイランドリーグplusの愛媛マンダリンパイレーツと徳島インディゴソックスの公式戦が行われ、300人を超える観客が南レク城辺球場を訪れました。

オープニングセレモニーでは、町内唯一の女子野球部員である内海中学校野球部の末廣乙葉さんが始球式を行いました。また、スタメンキッズを南宇和レッドファイターズ、セレモニーキッズを緑スポーツ少年団の皆さんが立派に務め、愛南町応援デーを盛り上げました。



7/16 第41回愛南レクバレーボール大会

愛南バレーボール協会主催の「第41回愛南レクバレーボール大会」が、御荘B&G海洋センターで開催されました。

大会では、町内の4チームが総当たり戦を行い、激闘の末「COLORS」が見事優勝を飾りました。

【大会結果】

優勝:COLORS 準優勝:SAKURA



▲優勝:COLORS

7/21 第17回南宇和郡小学校水泳競技大会

城辺小学校プールで「第17回南宇和郡小学校水泳競技大会」が開催されました。満員の観客席から送られてくる、保護者や仲間たちからの声援にパワーをもらい、出場した全ての選手たちは入賞・自己ベスト更新を目指して力強い泳ぎを見せました。



▶男子

7/22-23 平城貝塚啓発事業「ドッキーを作ろう！」

御荘文化センターで、平城貝塚啓発事業「ドッキーを作ろう！」が実施されました。ドッキーとは、講師のおかしあそび考古学者ヤマラ先生が考案した土器片（割れた土器の欠片）にそっくりなクッキーのことです。

去年は児童のみを対象に開催されましたが、今年度は初の試みとして成人向けの部が開催されました。成人向けの部に参加した8人は、土器片の形や色などを観察した後、クッキーに混ぜるパウダーやドライフルーツなどを選び、いかに見た目を土器に近づけるか考えながらドッキーを製作しました。また、児童向けの部も開催され、28人の児童たちが工夫を凝らしてドッキーを作り、平城貝塚への理解を深めていました。

おいしく楽しく平城貝塚について学んだ参加者からは、「私に配られた土器は、茶色と黒の2色のグラデーションがありました。色の表現が難しかったのですが、どうすれば似せられるか工夫を考えるのが楽しかったです。平城貝塚のことはあまり知りませんでしたが、今回のイベントが興味を持つきっかけになりました」といった感想が上がりました。



▲参加者の作ったドッキーを焼く
ヤマラ先生

8/4 御荘中学校生徒2人が全国中学校体育大会陸上競技の部出場を報告

四国大会を目前に控えた8月4日(金)、御荘中学校3年生の清家一真さんと2年生の和田結倫愛さんが四国・全国大会への出場を清水雅文町長に報告するため、役場本庁を訪れました。

6月に行われた郡総体において、清家さんは400メートルで大会新記録を樹立し、7月の県総体では、清家さんが400メートルで2位、和田さんが1500メートルで2位、800メートルで4位になるなど、目覚ましい活躍を見せました。

全国大会の意気込みについて、清家さんは「自分のベストを出して、自分自身が納得したいです。また、今までたくさんの先輩や先生のご指導に支えられてきました。そのご恩に報いる結果を出したいと思います」と力強く語りました。和田さんも、「チームメイトや先生、家族など応援してくれているみんなに、感謝の気持ちを伝えられるような結果を残したいです。そして、自分が満足できるようなタイムを出したいと思います」と、笑顔を見せて抱負を述べました。

8月22日(火)から25日(金)にかけて行われた「全国中学校体育大会(第50回全日本中学校陸上競技選手大会)」に出場した2人は、全国大会でも堂々と自分の力を出し切りました。



▶ 全国大会出場を報告した和田さん(左)と清家さん

8/9 南宇和高校2年福原丈一郎さん 相撲競技で全国3位入賞!

8月4日(金)から6日(日)にかけて北海道で行われた全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の相撲競技に出場した南宇和高校2年生の福原丈一郎さんが、見事3位入賞の成績を収め、その結果を清水雅文町長に報告しました。

全国大会を終えた福原さんは、「全国大会で戦った相手は、みんな体も大きくて、何より勝とうとする気迫が強く伝わってきました。自分も勝つぞ!という気持ちを持って、優勝するつもりで挑んだので残念な気持ちはありますが、全国で3位になったことは素直に喜びたいと思います。そして、来年こそは優勝を目指します」と、大会の様子を振り返りながら、早くも来年に向けての意気込みを見せていました。

結果報告を受けた清水町長は、福原さんの鍛えた体に感心しながら、「こうして近くで見ると本当に体が大きくて、堂々としている。3位入賞という結果もすばらしく、今後も福原さんの活躍を応援しています」と笑顔で祝福の言葉を送りました。



愛媛CATV動画



▲清水雅文町長と記念撮影する福原さん

8/10 篠山・城辺中学校から、ソフトテニス全国大会出場を報告

全国中学校体育大会(第54回全国中学校ソフトテニス大会)に出場する7人が、大会への出場を報告するため清水雅文町長を訪問しました。

篠山中学校2年生の山崎史帆里さんは、「全国大会でもペアと一緒に声を出し合い、自分たちから攻めていき、まずはベスト4に残りたいと思います」と目標を話しました。

城辺中学校3年生の清家七海さんは、「中学で最後の大会になるので、全国大会ではペアと一緒に楽しく悔いの残らない試合をしたいです」と力強く語りました。

大会は8月21日(月)から23日(水)にかけて行われ、全国の舞台上で熱戦を繰り広げた7人の選手は既に次の大会を見据えて切磋琢磨し合いながら練習に励んでいます。

【篠山中学校 出場者5人】

・団体の部 3年生、男子(ライクラブ所属)

尾崎健人、ショート・アンセル、山本煌

・個人の部 2年生、女子:中山心春・山崎史帆里

※尾崎健人さんとショート・アンセルさんは個人の部にも出場

【城辺中学校 出場者2人】

・個人の部 3年生、女子:清家七海・岡田みみか



▲全国大会に出場した篠山・城辺中学校の皆さんと清水雅文町長